

青年部 定期大会 を開催

「みんなでしゃべろう」 について感じる不満や疑問を しあい、みんなで話し合い

「みんなでしゃべろう」

10月5日(金)、府職労青年部2019年度定期大会が開催されました。大会には大阪府、府立病院、研究所などの各職場から34人の青年が参加しました。

チームごとに ワークショップ

今回の大会は「みんなでしゃべろう」をテーマに、



チームで考えたアクションの発表

職場も職種もバラバラの6つのチームにわかれてワークショップ形式で開催されました。「洋食・和食のどちらが好きか」「今日の体調は」「じゃんけん大会」などのウォーミングアップでスタートし、そのあとチームにわかれて、働いていて不満や疑問に思うことをポストイットに書いて出しあいました。「給料が少なすぎ」「通勤が遠すぎ

る」「職場に網戸をつけてほしい」「トイレをきれいにしてほしい」「留守ボタンを電話機につけてほしい」「災害対応等での宿直時の仮眠スペースを整備してほしい」「災害時の特別休暇や交通費負担の問題」「ゆとり月間は残業代が出ない」など、さまざまな不満や意見が出されました。

そのあとは、チームで理想の大阪府、理想の職場について話し合いました。このあたりからチームの雰囲気も一気に和み、どのチームからも楽しい笑い声が聞こえ、とても盛り上がりがありました。

最後には、チームごとに一つの問題を取り上げ、理想に近づけるためのアクション(実現性の可否は問わず、楽しくてももしろいもの)をみんなで考えました。



日々の不満や疑問を書き出す



それぞれが書き出したことを話し合い共有する

和気あいあいと 楽しく交流

ワークショップ後の交流会は、越智青年部副部長の乾杯でスタートし、お酒と料理を楽しみながらテーブルごとに楽しく交流を深めました。チームごとに考えたアクションの発表もあり、おもしろい発想に会場が笑いに包まれる場面もありました。

大会の最後には塚元青年部長があいさつし「みんなが出した不満を要求にし、理想に近づけるために青年部としても頑張りたい。とにかくみんなが楽しいと感じつつ、学ぶこともできる青年部活動をすすめてほしい」と決意を語り、締めくくりました。

大会参加者の感想(抜粋)

- 良い経験になりました。他の職場の人と話す機会はなかなかないので楽しい時間を過ごせました。
- 職場の不満を言えることができ良かったです。
- 来る前は緊張していましたが、だんだん緊張もなくなり、楽しく過ごすことができました。
- 給料上昇に期待。
- 定期的に行ってほしい。
- いろんな職場・職種の人とかかわることができて良かった。これからの仕事にも生かせるつながりができた。
- 分野の違う方と問題を共有・交換できて良かったです。
- 他の職種の方と多くのことを活かして、いい大会だと思った。みんな元気で楽しそうだと思う、これからも会を開いてほしいと思った。
- それぞれの職種の大変さを知ることができ、共感しあえたので貴重な経験になりました。意見交換を通じてメンバーとの会話が弾みよかったです。
- 楽しく仕事のことにみんなで考えることができました。
- 今まで言っていないのか悩んでいた不満を言いやすく心が楽になりました。その不満に対して共感を得ることができたのが一番うれしかったです。
- テレビで見るような劣悪な環境があることを知り、早く改善されるべきだと思った。
- 今日の交流会で出た意見が1つでも実現されたらよいと思います。
- 自分では気づかなかったこともみなさんの不満を聞いて「たしかに！」と思いました。
- これからも楽しく組合活動できればと思います。
- 自分の職場との共通点や違いなどもわかり良かったです。自由に付箋に書くことができたので話しやすかったです。
- いろんな職場の方々とコミュニケーションをとって、各職場で抱えている問題を知ることができた。また真剣すぎずフランクに会話をできて良かったと思います。

カジノより〇〇!

い〜カジノより〇〇!に〜

9月28日(金)、府民要求連絡会・市対策連絡会 議共催「交流のつどい〜カジノより〇〇!」が、エル・おおさか南ホールで開催され、約150人が参加しました。

開会のあいさつに続き、「あかんカジノ!女性アピール」呼びかけ人の山口美和子さんから連帯あいさつがありました。山口さんは、ギャンブル依存症の家族がどんなに辛い思いをするのかなどリアルな説明をした上で、「カ

福祉や医療、教育の 充実こそ必要

リレートークでは、各分野の団体からカジノより〇〇とそれぞれの要求をかけた発言